

1 中央西まちづくりプランについて

1 まちづくりプラン策定の趣旨

本市においては、地域住民の意見を反映させるとともに住民主体のまちづくりを推進するため、区域を分けて地域自治区を設置しています。各地域自治区は「地域協議会」と「地域自治区の事務所（地域事務所等）」で構成されています。地域協議会の役割は、「地域が抱える問題を自ら発見し、自ら解決する」ことであり、その実践組織が「まちづくり推進委員会」になります。まちづくり推進委員会の活動も一定の成果はでてきているものの、目標が明確にされていないなど今実施している事業が地域の将来にどうつながっていくのか不明瞭であるなど新たな課題が生じているところです。そのため、地域の各種団体が「10年後の中央西地区がどうあるべきか」という同じ目標に向かって一緒に取り組むための、羅針盤になるものとして「中央西まちづくりプラン」を策定しました。

2 実施計画の目指すところ

中央西地区では「子どもたちを含めた住民の方が将来もずっと住み続けたいと思うような地域にする」を目標として、「文化あふれ、生きいき元気なまち 中央西」をスローガンに地域の各種団体とまちづくり推進委員会の活動が同じ目標に向かって、より効果的、継続的に実施されることを目的として策定しました。

3 実施計画の期間

2014（平成26）年度から2023（平成35）年度までの10年間としますが、5年間を経過した時点で、社会情勢や実施状況をみながら見直しをすることができるものとします。

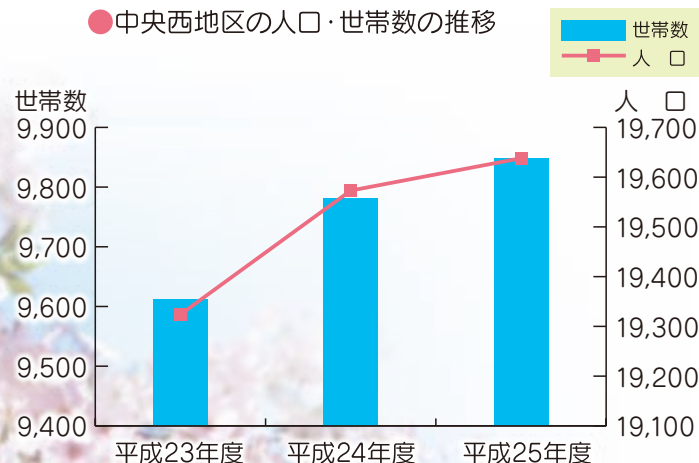
2 地域の特徴

宮崎県立芸術劇場・県立図書館や宮崎公立大学などがある文教区です。古くからある住宅地で高齢化が進みつつありましたが、中心市街地に近いこともあって近年、地区内にマンションが急増し若い世代が増えたことにより、地域活動の広がりが期待される地区です。

あいさつをする程度の近所付き合いしかないといった意見があるものの、防犯パトロールや通学路見守り活動に取り組んでおり、子どもたちと地域住民とのコミュニケーションがはかられています。宮崎西部地区交流センターは、地域事務所・公民館・地区社会福祉協議会および児童センターが同じ事務所内にあるため、地域の様々な情報や課題を共有することができ、地域活動の推進に一役を担っており、住民の活動拠点としてモデル的位置づけとなっています。

1 地域の人口・世帯

●中央西地区の人口・世帯数の推移



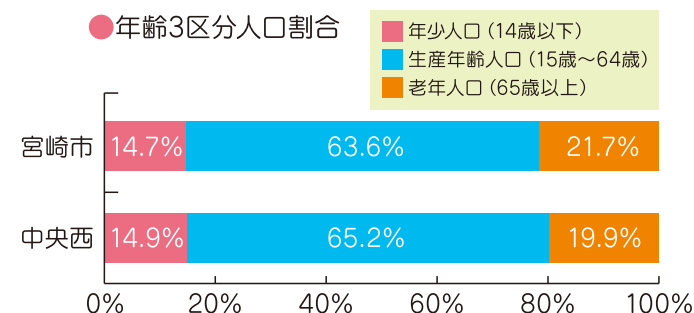
※各年4月1日現在の住民基本台帳数値

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
世帯数	9,612	9,781	9,848
人口	19,324	19,573	19,638

スーパーや病院等も多く利便性の高い地区であり、中心市街地にも近いいためマンション等の建設が進み、世帯数・人口ともに毎年増加しています。

2 地域の年齢区分

●年齢3区分人口割合



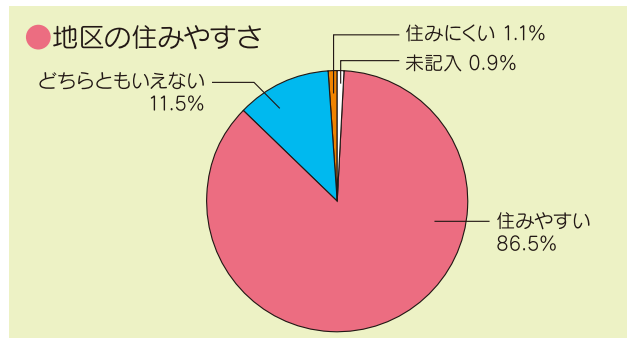
※平成22年国勢調査 小地域集計数値

	中央西	宮崎市
年少人口 (14歳以下)	2,919	59,082
生産年齢人口 (15歳～64歳)	12,752	256,176
老年人口 (65歳以上)	3,902	87,597
人口総計	19,573	402,855
高齢化率	19.9%	21.7%

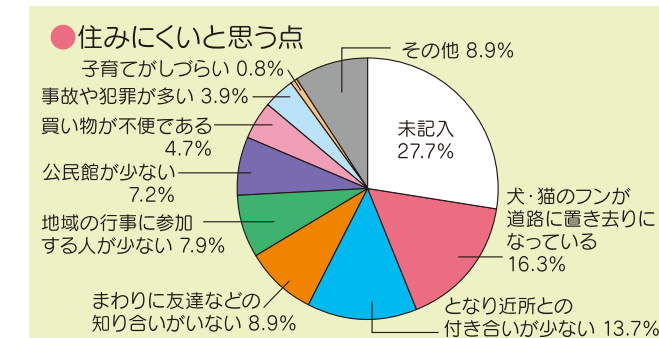
中央西地区全体の約80%が65歳以下であり、宮崎市全体と比べて全体的に年齢が若い傾向にあります。高齢化は毎年すすんでおり高齢化率は、19.9%となっています。

3 まちづくりプランアンケートの結果について

1 地区の住みやすさについて

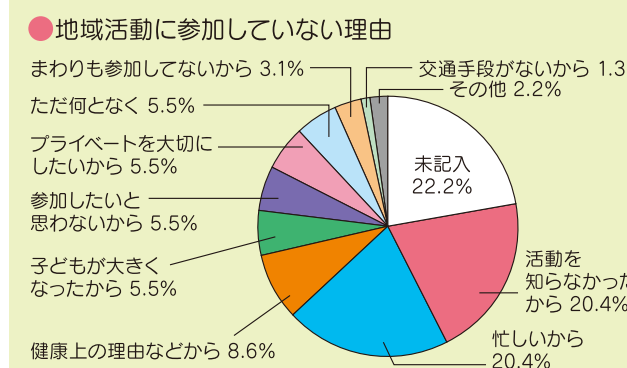


今回、実施した住民アンケートの結果をみても全体の86.5%の方が「住みやすい」と回答しており、「住みにくい」と回答した方はわずか1.1%という結果がでており、中心市街地に近く地区内に病院がたくさんあるなど満足されている方が多いようです。



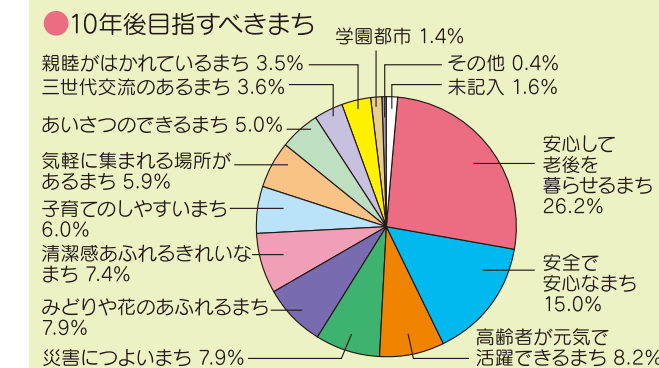
「住みにくい」と思う主な理由は、「犬・猫のフンが道路に置き去りにされている」と「となり近所との付き合いが少ない」という意見でした。

2 地域活動への参加について



まちづくり推進委員会や自治会などの開催する地域活動に「1度も参加したことがない」と回答した方が、全体の64.1%となっており、参加していない主な理由は、「活動自体を知らなかったから」、「仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから」という意見でした。

3 「中央西地区の10年後の目指すべき姿」について



「10年後がどんなまちであつたらよいか」という設問については、20代が「子育てのしやすいまち」を望んでいるのを除くと、すべての世代で「安心して老後を暮らせるまち」と「安全で安心なまち」、「高齢者がいつまでも元気で活躍できるまち」であることを望んでいるという結果がでています。